

# お知らせ

## Information

### シリーズ 消費生活相談⑦⑤ 「化粧品」に関する相談

#### ◇事例 (20代女性)

インターネット通販で、定価1万円美容液が、初回千円、その後3回は半額の5千円で定期購入できるということだったので、定期購入を決めた。先日商品が届き、使用し始めると、数日後に肌荒れを起こし始めた。30日間返金保証サービスの記載があったので、販売業者に返品を申し出たところ、「商品箱と明細書がないので返品できない。ホームページにその旨を記載してある」と言われたが、納得できない。美容液の返品と定期購入の解約をしたい。

通信販売は、販売業者が返品特約を設けていればそれに従うことになり、今回は商品箱がなければ返品は難しいと説明しました。商品の使用による肌荒れで解約に応じる旨の定めもないため、再度販売業者と話し合うしかないことを助言しました。

通信販売は、クーリング・オフ制度の適用はなく、販売業者が返品特約を設けていれば、それに従うこととなります。化粧品の定期購入については、肌に合わない場合があることも念頭に置いて、返品特約をはじめ、購入条件や解約についての定めを十分確認した上で申し込むようにしましょう。

#### ◎ 消費生活相談 (無料) を行います。ご利用ください。

- 日 時 10月12日(水)(毎月第2水曜日) 午前10時～正午、午後1時～午後4時
- 場 所 役場2階相談室201
- 問い合わせ先 産業観光課商工労政係 ☎(48)1111 (内1226・1227)  
知多半田消費生活センター(クラシティ半田3階市民交流センター内、駐車場利用時1時間まで無料)でも消費生活相談を行っています。  
月曜日～金曜日(祝日、クラシティ半田閉館日を除く) 午前9時30分～午後4時30分 ☎(32)2444

### ● 「あなたも図書館司書」の参加者募集

10月27日～11月9日は読書週間です。町立図書館では、読書週間にちなみ、読書週間事業「あなたも図書館司書」を開催します。

本に親しみ、図書館への関心を深められるように、司書の仕事を体験してもらいます。参加費は無料です。小学生の皆さん、図書館司書を体験してみませんか。



- 日 時 10月15日(土)  
(午前の部) 午前10時30分～正午  
(午後の部) 午後1時30分～午後3時
- 場 所 町立図書館
- 講 師 図書館司書・職員
- 内 容 装丁(本のフィルムかけ)と受け付け業務の体験
- 対 象 4年生以上の小学生
- 定 員 午前の部・午後の部 各6人(定員を超えた場合は抽選)

- 申し込み方法 9月30日(金)までに電話か直接図書館窓口で申し込んでください。

申し込み・問い合わせ先  
町立図書館 ☎(48)6231

### ● 社会生活基本調査にご協力ください

10月20日現在で社会生活基本調査が実施されます。この調査は、1日の生活時間や過去1年間の活動状況に関する調査で、統計法により特に重要とされる基幹統計調査として実施します。対象は無作為に選ばれた全国約9万世帯で、その世帯に住んでいる10歳以上の世帯員の皆さんです。

調査結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進、少子高齢化対策、男女共同参画社会の形成などの施策に必要な基礎資料として利用されます。

10月上旬から中旬にかけて、知事が任命した調査員が調査票を届けますので、10月20日以降に提出をお願いします。調査の趣旨、必要性をご理解いただき、ご回答を

### 成年後見制度巡回相談

- 10月6日(木)
- 場 所 中央公民館308号室
- 時 間 午後1時30分～午後4時30分
- NPO法人知多地域成年後見センターでは、成年後見制度巡回相談(事前に予約が必要)を毎月行っています。
- 問い合わせ先  
半田後見事務所(半田市福祉文化会館内)  
☎(21)0811

### 10月の相談

- 人権・行政・心配ごと相談  
6日(木)、20日(木)
- 場 所 中央公民館308号室
- 時 間 午前9時30分～午前11時30分
- ※ 電話での相談も受け付けます。
- 無料法律相談(事前に予約が必要)  
20日(木)
- 場 所 役場1階相談室101
- 時 間 午後1時～午後4時
- 問い合わせ先  
住民福祉課 ☎(48)1111 (内1122)

よろしくお願ひします。

#### 問い合わせ先

愛知県民生活部統計課  
☎052(954)6116 (ダイヤルイン)

### ● ご寄付ありがとうございます

#### 匿名様

「ふるさと阿久比応援寄附金(ふるさと納税)」で町に3万円をご寄付いただきました。

#### 編集後記

フランスからの留学生を迎え、再び得た英語上達のチャンス。困った時は通訳さんに頼ろうとたくらんでいた私に、開始早々訪れた最大のピンチ。それは通訳さんの不在。「自分でやるしかない」と、追い込まれた状況で取材を開始。私は、つたない英語と英語っぽいイントネーションの日本語で何とか取材を進めました。時には、私が英語でした質問に、レナさんが日本語で答えるという珍現象も。英語が上達したかは不明ですが、自分の英語が外国人に伝わるのだと、少し自信はつきました。通訳さんがいないというピンチがチャンスに変わりました。

私の怪しい英語を、一生懸命に理解しようとしてくれたレナさんに感謝。1年間の留学生活が実り多きものとなることを祈っています。